

利根沼田地域感染症発生動向調査情報（週報）

2025年第31週（2025年7月28日～2025年8月3日）

◆利根沼田地域で結核の報告がありました。

早期発見・早期治療のために定期的な結核健診を受けることが大切です。また、咳やたんが2週間以上続く場合は結核の可能性があるので、医療機関を受診してください。

◆利根沼田地域で腸管出血性大腸菌感染症の発生がありました。

食品や調理用品の取扱いに注意し、調理前や食事前には必ず手洗いをしてください。抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症化することがありますので、下痢や腹痛、発熱などの症状がある場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

◆利根沼田地域で百日咳の報告がありました。

百日咳は百日咳菌による感染症で、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによって感染します。感染すると風邪症状が見られ、徐々に咳が強くなっていきます。成人では、比較的軽い症状で経過することが多いですが、乳児が感染すると重症化し死に至ることがあります。予防方法として、予防接種やマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒などが有効です。また、流行時に予防接種が完了していない乳幼児を連れて外出する際には人混みを避けるように注意しましょう。

◆新型コロナウイルス感染症の報告が増加しています。

引き続き、咳エチケットやこまめな手洗い・手指消毒など、個人でできる対策をしっかりと行ってください。施設等での集団発生の報告が続いています。感染対策が徹底されているか、再度の確認をお願いします。

◆群馬県で伝染性紅斑の警報が発令されています。

伝染性紅斑とは両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれるヒトパルボウイルスB19による感染症です。妊娠中に感染した場合、まれに胎児の異常や流産が生じることがあります。妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ患者との接触を避けるよう注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいので、石けんと流水で手を洗い、咳エチケットを心がけましょう。

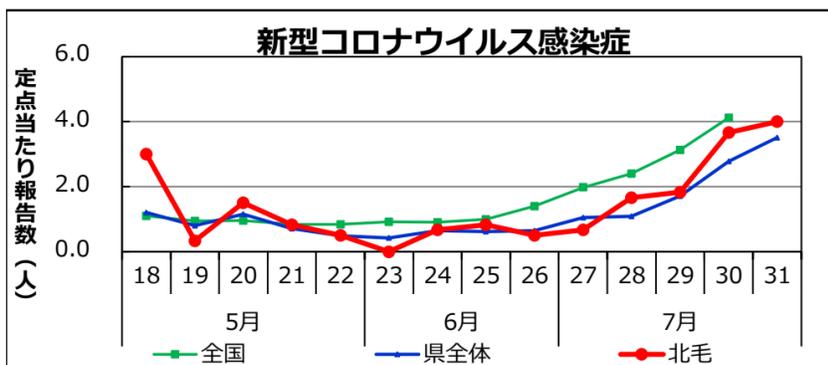
★医療機関や施設等で感染症の集団発生や食中毒を疑う事例があった場合には保健所にご連絡ください。

【全数把握対象疾患】

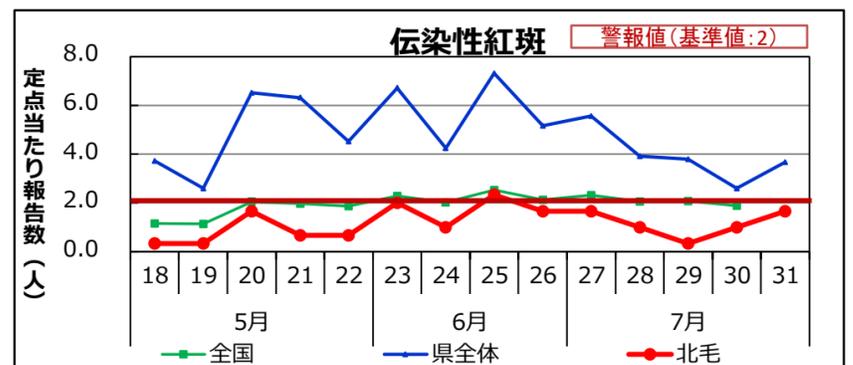
類型	疾患名	年齢群	性別
二類	結核	70歳以上	女
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	女
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	10歳未満	男

類型	疾患名	年齢群	性別
三類	腸管出血性大腸菌感染症	40歳代	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	40歳代	女
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	女
三類	腸管出血性大腸菌感染症	40歳代	男
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30歳代	女
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30歳代	男
五類	百日咳	10歳未満	男

【定点把握対象疾患】



【定点把握対象疾患】



【急性呼吸器感染症（ARI）定点把握疾患及び小児科定点把握疾患】

疾患名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当
県全体	14	0.31	158	3.51	21	0.84	12	0.48	33	1.32	232	9.28
北毛	7	1.17	24	4.00	-	-	1	0.33	1	0.33	14	4.67

疾患名	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当
県全体	5	0.20	5	0.20	92	3.68	12	0.48	44	1.76	1	0.04
北毛	1	0.33	-	-	5	1.67	-	-	2	0.67	-	-

【眼科定点把握疾患】

疾患名	急性呼吸器感染症	
	報告数	定当
県全体	3,628	80.62
北毛	245	40.83

疾患名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎	
	報告数	定当	報告数	定当
県全体	-	-	22	1.57
北毛	-	-	2	1.00

◆凡例 定当 : 定点当たり報告数(人) : 警報レベル
 - : 報告なし : 注意報レベル

発行：利根沼田保健福祉事務所 保健課保健係
 TEL：0278-23-2185